

平成 29 年度北海道子どもの未来づくり審議会 子ども部会の運営について

子ども子育て支援課

1 子ども部会の概要について

(1) 設置目的

子どもの視点で審議を行うことにより、子どもが自らの意見を表明する機会を確保する。

子どもの意見が適切に社会に反映できる環境づくりを進める。

(2) 委員

道内の中高生 17 名

中学校・高等学校生徒（公立）	14 名
中学校・高等学校生徒（私立）	2 名
特別支援学校生徒	1 名

(3) 開催日時

第 1 回目：平成 29 年 8 月 2 日（水）10:00～16:00

第 2 回目：平成 29 年 12 月 27 日（水）10:00～15:00

開催場所：赤れんが 2 階 2 号会議室

2 審議における基本的な考え方について

- ・北海道子どもの未来づくり審議会における子ども部会の審議及び知事への提言を踏まえ、より具体的なアイデアや手立てを検討する。
- ・検討にあたっては、子どもが子どもとしての視点で考え、子ども時代のことを中心として、意見・提言をとりまとめる。
- ・道は、こうした意見や提言を施策に結びつけるとともに、その結果を広く子ども達へフィードバックするよう努める。

3 今年度の審議事項について

- 若者の保育士体験の機会を通して、子育て支援の充実を考える

平成 28 年度の提言項目にある「若者に保育士体験の機会を作り保育士の仕事に興味を持ってもらい保育士を増やす。」をもとにして、子育て支援の現状はどうなっているのか、保育園や幼稚園はどんなところなのか、子どもの時代にどんなことをするべきか、体験の機会をどのように確保するか、他の方法はないか等、子どもたちの多様な視点で検討する。

北海道子どもの未来づくり審議会(子ども部会)から 知事への提言 (H29. 3. 22)

提言項目の概要

【付託案件】

～ 人口減少問題への対応としての少子化対策の推進について ～

(テーマ：私たちの希望がかなう北海道の姿)

- 平成28年8月9日及び12月27日の2日間にわたり、少子化対策の推進について、子どもの視点で話し合いを行いました。
- その結果を踏まえ、次のとおり4つの提言項目をまとめましたので、今後の北海道の少子化対策に反映してくださるようお願いします。

【主な提言項目】

- 1 子どもが生まれてから成長する間の、子育ての不安や悩みを解消する子育て支援の充実
 - 若者に保育士体験の機会を作り保育士の仕事に興味を持ってもらい保育士を増やす
- 2 不安なく子育てできるための経済力を確保する働き先や雇用の充実
 - 女性が地域の仕事につきやすいように支援を拡充したり、女性の就職・再就職をサポートする
- 3 人と人がつながり、地域とのつながりが深まることにより、子育てしやすい環境づくりを進める
 - 空き家や廃校を活用し、元気な高齢者、保育士などのボランティアにより子育てをサポートしたり、保育所と高齢者施設が融合した施設で、幅広い世代をふれあう機会のあるコミュニケーションの場を作ったりする
- 4 北海道の魅力、地域の強みを生かし、誇りや愛着を持って生活し子育てできる環境づくりを進める
 - 自然とのふれあいなどの地域それぞれの特徴を生かした施設づくりをする。

【参考】北海道子どもの未来づくり審議会子ども部会について

「北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例」第28条の規定に基づき、

- 子どもが自らの意見を表明する権利を行使すること。
- 子どもの意見が適切に社会に反映される環境を整備すること。

を目的として、「北海道子どもの未来づくり審議会」に「子ども部会」を設置しているもの。